



赤松林太郎 (A)

1978年生まれ。2歳よりピアノとヴァイオリンを、6歳よりチェロを始める。幼少より活動を始め、5歳の時に小曾根実氏や芥川也寸志氏の進行でテレビ出演。10歳の時には自作カデンツァでモーツァルトの協奏曲を演奏。1990年全日本学生音楽コンクールで優勝して以来、国内の主要なコンクールで優勝を重ねる。1993年仙台市教育委員会より平成5年度の教育功績者に表彰。1996年第1回浜松国際ピアノアカデミーに参加。2000年にクララ・シューマン国際ピアノコンクール（審査員にはマルタ・アルゲリッチやネルソン・フレイレなど）で第3位を受賞した際、Dr.ヨアヒム・カイザーより「聡明かつ才能がある」と評された。その後の国際コンクールでの受賞は10以上に及ぶ。

神戸大学を卒業後、パリ・エコール・ノルマル音楽院にてピアノ・室内楽共に高等演奏家課程ディプロムを審査員満場一致で取得（室内楽は全審査員満点による）。ピアノを熊谷玲子、ミハイル・ヴォスクレセンスキー、フランス・クリダ、ジャン・ミコー、ジョルジュ・ナードル、ゾルターン・コチシュ、室内楽をニーナ・パタルチェツ、クリスチャン・イヴァルディ、音楽学を岡田暁生の各氏に師事。

国内各地の主要ホールはもとより、アメリカ、ロシア、ドイツ、フランス、イタリア、スペイン、オーストリア、ハンガリー、ポーランド、台湾、コロンビアを公演で回る。2016年よりハンガリーのダスビア・タレンツ国際音楽コンクールの審査員長を務める。2015年に引き続き2017年ドナウ交響楽団と再演、ヴァーツのダスビア・タレンツ音楽祭（ハンガリー）にも招聘される。2018年は台北、ケチケメート春の音楽祭（ハンガリー）、シャビア市国際ピアノコンクール（スペイン）の審査員、WPTA Spain（世界ピアノ指導者協会スペイン支部）のマスタークラス、ダスビア・タレンツ・リスト国際音楽コンクール（イタリア）の審査員にも招かれている。これまでに新田ユリ、手塚幸紀、堤俊作、西本智実、山下一史、デアーク・アンドラーシュの指揮のもと、東京交響楽団やロイヤルメトロポリタンオーケストラ、ロイヤルチェンバーオーケストラ、ドナウ交響楽団などと共演。NHK交響楽団や東京フィルハーモニー管弦楽団などのメンバーと室内楽も行い、多くの音源（YouTube）に残している。キングインターナショナルから《ふたりのドメニコ》《ピアソラの天使》《そして鐘は鳴る》《インヴェンションへのオマージュ》をリリースして各誌で絶賛される。1,000名以上の指導に携わり、国内外の主要なコンクールで多くの受賞者を輩出している（PTNA特級グランプリ・銀賞・銅賞、東京音楽コンクール優勝、多数の国際コンクール他）。審査員やマスタークラスの講師はもちろん、エッセイストとして新聞や雑誌にも連載を持っており、新刊として『赤松林太郎 虹のように』を出版（道と書院、2016年）。「美しいキモノ」にたびたび出演・掲載されている。

現在は、全日本ピアノ指導者協会評議員、ブダペスト国際ピアノマスタークラス教授、洗足学園音楽大学客員教授、大阪音楽大学特任准教授、宇都宮短期大学客員教授、札幌大谷中学校・高等学校音楽科特別講師、カシオ計算機株式会社アンバサダー。

<http://rintaro-akamatsu.com/>



最新録音

『インヴェンションへのオマージュ』

レーベル:キングインターナショナル(国内企画)
品番:KKC-048 価格:オープン価格



『ピアソラの天使 〜ピアソラ・オン・ピアノ』

レーベル:キングインターナショナル(国内企画)
品番:KKC-038 価格:オープン価格



『そして鐘は鳴る』 And the Bell tolls

レーベル:キングインターナショナル(国内企画)
品番:KKC-045 価格:オープン価格

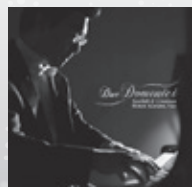


書籍

赤松林太郎『虹のように』 ¥1,800+税《道と書院》 ISBN978-4-8105-3300-2

瞬時に過ぎ去る音。つかのまの虹。
再び同じ場所に同じ感動は起こらない。
だからこそ深く心に刻まれる
永遠の響きを求めて...

華麗な超絶技巧と
驚異の博覧強記で知られる
異才ピアニストが初めて明かす、
日々の鍛錬と独自の思考術。



『ふたりのドメニコ』

レーベル:キングインターナショナル(国内企画)
品番:KKC-036 価格:オープン価格

INFORMATION